

## 平成 27 年 豊岡市政 10 大ニュース(日付順)

### 「城崎町湯島<sup>たいか</sup>大火」発生(1月3日)

午前5時50分、城崎温泉街で大火が発生しました(全焼8棟、半焼4棟、水損14棟、被災世帯20世帯、死者2人、焼損約2,200平方メートル)。市では5日、城崎町湯島大火災害対策本部を設置し、復興に取り組んでいます。木造3階建ての伝統的町並みは、城崎にとって大切な財産です。耐火・耐震などの防災対策をさらに充実させ、市民や観光客の安全・安心を確保するため、市歴史的建造物保存活用検討委員会を中心に具体的方策を検討しています。

### ハイリスク出産に対応「但馬こうのとり周産期医療センター」オープン(1月12日)

平成25年11月4日に整備工事に着手した「但馬こうのとり周産期医療センター」がオープン。鉄筋コンクリート4階建てで、低体重児などのハイリスク出産に対応するため、新生児集中治療室(NICU)や回復治療室(GCU)などを設置しています。公立豊岡病院組合では、但馬地域の産科を守り、ハイリスクの妊娠・胎児・新生児に対応する周産期医療を充実させています。

### 市立森本中学校が閉校 市立竹野中学校に統合(3月24日、4月7日)

3月24日に森本中学校の閉校式を、4月7日に竹野中学校との統合式を行いました。昭和22年の開校以来68年間、地域の教育の場として社会に大きく貢献してきた森本中学校が、その歴史に幕を下ろしました。

### 新豊岡市誕生10周年記念「式典・市民みんなのパレード」開催(4月18日)

平成17年4月、それぞれの魅力ある伝統と文化を持つ1市5町が合併し、新豊岡市が誕生しました。新市誕生10周年を記念し、市役所市民広場で、記念式典を開催。表彰やステージイベント、市民みんなによる風船上げを行いました。同日、市道大開一日市線では伝統芸能などを披露する「市民みんなのパレード」を開催。東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードが華を添え、約2万3千人の市民らでお祝いしました。

### 「北近畿豊岡自動車道(豊岡北～南)都市計画」決定(6月23日)

本市と丹波市の約70kmを結ぶ高規格幹線道路の北近畿豊岡自動車道。その内、豊岡北(新堂)・豊岡南(上佐野)間の約7kmの都市計画が決定しました。現在、豊岡南までの工事が進められていますが、さらに北進することが決まりました。なお、日高(日高町<sup>にょう</sup>祢布)までは、平成28年度に供用開始の予定です。

### ミラノ国際博覧会で豊岡をPR(7月16～17日・イタリア)

5～10月に開催されたミラノ国際博覧会で、コウノトリ育むお米や豊岡の観光をPRしました。日本館ではコウノトリがメイン展示で大きく紹介。フードコートのお米は全てコウノトリ育むお米が使われました。また、7月15日には、パリ外国人記者協会(フランス)で豊岡をPRしました。コウノトリ育むお米の海外市場での販路開拓の取り組みを、ニューヨーク(米国)やミラノ、シンガポールでスタートさせました。

#### 北但大震災 90 年メモリアル事業「市民総参加訓練(防災訓練)」初実施(8月30日)

本市では初となる市民総参加訓練を実施。市民は、各家庭・区内避難場所等で、安全確保行動や津波避難、安否確認、情報伝達などの訓練をしました。同日、港中学校で関係機関と共に震災総合防災訓練を実施しました。5月23日には「後世に伝えること」と題して、講演や戯曲朗読、写真の展示などを行いました。

#### 「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGN)山陰海岸シンポジウム」開催

9月16~20日、日本で初開催となる「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム」が、本市や鳥取市をメイン会場に開催されました。本市では、市民会館で開会式が行われた他、市内飲食店でウェルカムパーティー「ジオまちバルIN豊岡」や市役所市民広場で芸能の披露、玄武洞・神鍋火山と人々の暮らしと題したツアーなどを実施しました。アジア各国のジオパーク関係者等が、ジオパークの現状や課題を共有し、今後のあるべき姿を探りました。11月17日には、世界ジオパークネットワークの活動が、ユネスコの支援事業から正式事業になりました。

#### コウノトリ放鳥10周年(9月24日)

平成17年9月、日本の自然界でコウノトリが絶滅してから34年の月日を経て、コウノトリは再び私たちの町の空を舞いました。放鳥10周年を記念して、市民団体や県立コウノトリの郷公園などが、各種イベントを開催しました。また、7月には、県外(千葉県野田市)で初のコウノトリ放鳥(10月・福井県越前市で放鳥)、9月には国外(韓国<sup>イェサン</sup>禮山郡)で初のコウノトリ放鳥。豊岡での放鳥から10年、コウノトリも住める環境づくりの輪が、日本中に、そして世界に広がっています。

#### 人口減少対策「豊岡市人口ビジョン」「豊岡市地方創生総合戦略」策定(10月30日)

人口の将来展望をまとめた「豊岡市人口ビジョン」を策定しました。また、人口減少のスピードを和らげる(量的緩和)とともに、その対策を通して自信と誇りに満ちた地域を創る(質的転換)ことで、将来、人口減少下にあっても地域活力を維持できるよう、5年間に取り組むべきことをまとめた「豊岡市地方創生総合戦略」を策定。移住・定住や結婚・多子出産を促進します。8月8日には、豊岡市移住戦略プロジェクト「<sup>ト</sup> <sup>ヨ</sup> <sup>オ</sup> <sup>カ</sup> <sup>ム</sup> <sup>!</sup>」を始動しました。